

私には三人の子供がいますが、今年受験生である長男から質問を受けました。「良い社会人になるには？」

友達を大切にしなければならぬ、お金に汚くはいけぬ、嘘をついてはいけぬ、など昔から言われる戒律のようなものがあります。長男の質問に対して私は「和」であると答えます。社会は個人の集団であり、一人で生活しているわけではありません。協調して話し合わなければうまく行きませんし、個々が独善的に行動したり、勝手に決めてしまえば社会は秩序が保てません。その為には他人の意見に耳を傾け、時には自己主張も必要ですが、自己の感情を抑え相手を立てなければならぬ事も多いと思います。目的意識を持ち、その目的を達成するためにはと皆で協議できる柔軟性と、妥協することができる心の豊かさが必要です。私は当院の開院の時から「全人教育」ということばを何度も使っています。実は元々長男が小学校に入ったときの校訓であり、あつ、これだと閃きました。子供も大人も修練して、全人としての自らをコントロールできる人格を育てなければなりません。

病院も小さな社会であり、大きな目標を設定し、達成するためにはと皆で協議することが大事です。ただし当院も四百五十人近くの職員がおり、全体会議で全てを決定することは不可能です。その為には各部署を代表するリーダーや所属長が必要です。彼らは代表者ですから皆の意見を良く聞き、吸い上げ、立案をしなければなりません。また大げさに言えば各部署の運命を握っていますから、責任感と方向性を出して行かないなりません。教育的側面が必要で、強いリーダーシップを発揮し、下の者を引っ張っていかねばなりません。そういうリーダーにしか逆に下も付いて行けません。当院も開院五年目に向けて立て直しが必要な部分も出てきました。皆が大きな目標に向かってチャレンジできる環境を整備、提供したいものです。

今年は異常な暖冬ですね。ノロウィルスの脅威もほぼ収まり、インフルエンザも今のところ小さな流行で済んでいます。この流行を抑えるにも「和」が必要です。第31章。